

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立松山北高等学校中島分校
学校番号(22)

| 評価実施日 | 令和4年2月7日(月)～21日(月) ※コロナの影響により、書面開催 | | |
|-------|------------------------------------|------------------|----|
| 委員 | 氏名 | 所属等 | 備考 |
| | 勝田 昇 | 元中島町教育委員会教育長 | |
| | 神野 泰二 | 松山市立中島中学校長 | |
| | 田口 栄子 | 福祉介護事業経営 | |
| | 山本 祥平 | 自営業(農業)、元中島町消防団長 | |
| | 山本 宅也 | 中島分校PTA会長 | |

| 評価・提言等 | 提言等に対する改善方策等 |
|---|--|
| <p>1 令和2年度「数値目標」達成状況について</p> <p>(1) 進学及び就職の目標達成率100% 進学においては、県内では松山大学、聖カタリナ大学、松山東雲女子大学、県外では、近畿大学、徳島文理大学に8名が進学している。また、就職に関しては、愛媛県職員(一般事務)に合格するなど生徒の希望を実現するために先生方が努力した結果であると考えられる。今年度、地元中島への就職内定者が2名いることは嬉しい。体験活動などを通して中島への愛着が育かれた結果であると思う。</p> <p>(2) 年間出席率95%以上 小・中学校で欠席の多い生徒が入学していると思うが、先生方の心配りのできた指導によって1年生は91.4%、2年生は90.8%、3年生は90.6%の出席率が高くなっている。今後についても、生徒一人一人に気を配り、行き届いた指導をお願いしたい。</p> <p>(3) 家庭学習時間2時間以上 全体の数値としては目標の2時間を超えているが、学年別に見ると3年生の学習時間が目標時間を下回っている。課題の出し方に工夫が必要ではないのか。また、学習方法や学習内容についての分析はしていないのか。</p> <p>(4) 全商検定において、3級以上の取得率90%以上 2年生において目標の取得率を大きく下回っている。学校行事により受験できなかったこともあるが、今後について、資格取得の意欲を向上させることが大切だと考える。</p> <p>(5) 地域での奉仕活動年間8回以上 コロナの影響で人と触れ合うボランティアなどが相次いで中止となっている。今後について、島で唯一の高校として積極的に地域と協働してほしい。</p> | <p>・進学に関し、生徒の学力に幅があり、一律の指導が難しい面はあるが、少人数の強みを生かして個別に学力を伸ばし、進路実現に向けて取り組んでいきたい。 ・進路未定者に関しては、生徒、保護者の希望を丁寧に聴き取り、本人の適性を考慮しながら指導をしていきたい。</p> <p>・長期欠席の生徒に対しては、家庭との連携を密にし、必要に応じて関係諸機関と連絡を取り対応できるようにしていきたい。また、担任が一人で抱え込むことのないようサポート体制を充実させたい。</p> <p>・家庭学習の取組に関して工夫が足りなかったように感じる。一人一台端末を活用した取組を研究し、学習に取り組む姿勢を醸成したい。また、学習方法等について別途アンケートなどで実態を把握したい。</p> <p>・今年度は、コロナによる学校行事の日程変更で受験できなかったり、検定そのものが中止になったりした。放課後自ら練習したいと申し出があるなど、生徒の受験意欲は高いので、今後も後押ししていきたい。</p> <p>・コロナの影響で予定されていた行事が軒並み中止となったが、生徒自身のボランティア精神は育ってきていると考える。</p> |
| <p>2 今年度の最終評価について マニフェスト達成のための取組はいろいろ行き届いていると感じる。しかし、やや複雑になっており、実践可能なかと思う。 中島中学校との交流が少ないと感じている。来年度に入学してくる市内からの新生生に分校の魅力をPRしてほしい。</p> | <p>・特色ある学校づくりにより島外からの生徒募集に力を入れている。地域と連携しながら計画的に実践していきたい。 ・地元の中学校から入学者が増加するよう、交流事業を増やし、中島分校の活動と魅力が伝わるようにしていきたい。</p> |